

山口大学医学部附属病院および当該研究に参加されている施設で診療を受けられる皆様、国立 精神・神経医療研究センター(NCNP)またはやりサーチ・リソース・ネットワーク (RRN) に保管されている残余脳・筋組織について、研究目的での二次利用の同意をいただいた皆様へ

当院と多機関共同研究施設では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	メッセンジャーRNA の発現解析による神経・筋疾患の病態解明		
② 実施予定期間	実施許可日 から 2028年3月31日		
③ 対象患者	対象期間中に当院または共同研究施設（大阪大学、新潟大学、兵庫医科大学）で筋生検あるいは病理解剖を受け、筋ジストロフィー、運動ニューロン病、炎症性筋疾患、神経変性疾患、末梢神経疾患、遺伝性神経・筋疾患の診断が確定した患者さん。国立 精神・神経医療研究センター(NCNP)またはやりサーチ・リソース・ネットワーク (RRN) に保管されている残余脳・筋組織について、研究目的での二次利用の同意が得られた患者さん。		
④ 対象期間	2018年4月1日 から 実施許可日		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	脳神経内科		
⑦ 研究責任者	氏名	中森雅之	所属 脳神経内科
⑧ 使用する試料・情報等	剖検・生検・手術時の残余検体（脳、筋組織など）、RNAの測定結果（メッセンジャーRNAの発現量・スプライシング様式）、臨床診断名、研究対象者背景（性別、生年月、試料採取時の年齢、入院・外来の別、身長、体重、合併症、既往歴、現病歴）		
⑨ 研究の概要	筋ジストロフィー、運動ニューロン病、炎症性筋疾患などの神経・筋疾患は、いまだによく原因がわかっていないものがほとんどです。現在のところ有効とされる治療法は限られており、また根本的な治療法もみつかっていません。これら神経・筋疾患の治療法を開発するためには、疾患の病態解明が必要不可欠となってきます。 私たちの教室では、神経筋疾患の病態解明にむけた研究をおこなっています。具体的には、患者さん由来の組織（主に骨格筋、剖検・生検・手術時		

	の残余検体) から、メッセンジャーRNA発現量の変化などを解析します。今回は、多機関共同研究として別添に記載された施設から、特定の個人が識別できないように匿名化した試料・情報を収集して当院で解析を行います。		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2023年 5月 23日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	本研究を行う研究グループに帰属します。		
⑮ 研究の資金源	山口大学大学院医学系研究科・臨床神経学講座の研究費(文部科学省科学研究費および奨学寄付金)		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 脳神経内科 担当者：中森雅之		
	電話	0836-22-2719	FAX 0836-22-2364

別添

研究組織

研究代表者：山口大学大学院医学系研究科臨床神経学講座 中森 雅之

研究参加施設と研究責任者

山口大学医学部附属病院 中森 雅之

大阪大学医学部附属病院 高橋 正紀

国立精神・神経医療研究センター神経研究所 西野 一三

国立病院機構大阪刀根山医療センター 松村 剛

兵庫医科大学病院 木村 卓

新潟大学脳研究所 柿田 明美